

# 石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



日和山から眺めた3年目の町並み(石巻市)

石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町で構成されています。全国の市町村で最大の死者・行方不明者を出した石巻市をはじめ、県内の人的被害の半数以上がこの地域に集中し、全半壊の住家も約47,000棟に上りました。

平成25年度には、膨大にあったがれきが片付き、各市町で災害公営住宅の整備や宅地の造成に本格的に着手しました。また、主要産業である水産業の本格的な復興が進むとともに、全ての在宅支援が必要な方々を対象とした「地域包括ケアシステム」の構築に向けた仮設住宅団地でのモデル事業や、大規模太陽光発電所が完成するなど、新たな取り組みも始まっています。

一方で、今なお3万人以上が応急仮設住宅で生活していますが、仮設住宅団地の集会所などでの運動教室や手仕事などの活動をとおして、地域のコミュニティを深める取り組みも進んでいます。

## 石巻エリアの被害状況

|       | 地域合計    | 県内合計     |
|-------|---------|----------|
| 死者    | 5,253人  | 10,472人  |
| 行方不明者 | 726人    | 1,283人   |
| 全壊    | 28,410棟 | 82,911棟  |
| 半壊    | 19,006棟 | 155,086棟 |

(平成26年1月31日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

|          | 平成24年3月 | 平成26年1月 |
|----------|---------|---------|
| プレハブ住宅   | 24,328人 | 20,949人 |
| 民間賃貸借上住宅 | 22,692人 | 10,994人 |
| 計        | 47,020人 | 31,943人 |

(平成26年1月31日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

|      | 平成26年2月 |
|------|---------|
| 計画戸数 | 5,955戸  |
| 着手戸数 | 2,767戸  |
| 完了戸数 | 149戸    |

(平成26年2月28日現在)



仮設住宅集会所での手仕事の様子(東松島市)



町民陸上競技場跡地に建設中の災害公営住宅建設の様子(女川町)

## 石巻エリアの被災直後と現在

### 石巻市門脇町周辺

太平洋に近く、最も被害が大きかった地域の1つですが、被災した建物が解体され、がれきが片付けられました。



### 石巻市立町周辺

倒壊した建物や船などが片付けられ、被災した事業者が集まる仮設商店街が営業中です。



### 石巻市牡鹿総合支所周辺

震源に近い牡鹿半島の先端に位置し、甚大な被害を受けましたが、まちを埋め尽くしたがれきが片付けられました。



### 東松島市野蒜地区周辺

被災した小学校体育館が解体され、仮設の市民センターや消防署などが整備されました。



### 東松島市小野地区周辺

冠水する被害を受けましたが、左側水路奥では、災害公営住宅の建設が進んでいます。



### 女川町女川浜周辺

町の中心部が壊滅的な被害を受けましたが、本格的な復興まちづくり事業が始まっています。





2013年3月15日 金曜日

### 新しい形のホテル「EL FARO」

(女川町清水町)



震災後、施設を失った旅館経営者らが共同で立ち上げたトレーラーハウス宿泊村「EL FARO」。スペイン語で「灯台」を意味するこの

宿泊施設は、被災地全ての一日も早い復興が実現するよう、一生懸命、温かい灯台の光を放ち続けています。

2013年3月23日 土曜日

### 「子どもたちに夢と希望を」 ～石ノ森萬画館リニューアル・オープン！

(石巻市中瀬)



3月23日、「石ノ森萬画館」がついにリニューアル・オープン。運営している石巻市の第3セクター、街づくりまなぼうの西條允敏社長は「マンガの力の素晴らしさを、これからは世界に発信したい」と熱く語りました。

2013年9月6日 金曜日

### 正しい数値をアピールして 「石巻を守る」

(石巻市魚町)



石巻魚市場で導入した、水揚げされた魚をまるごとコンベアーに載せて放射能の測定ができる検査システム。水揚げされる魚が安全で安心して食べていただけるよう東北大学と開発を続けてきた、「オリジナル」の機器です。

2013年9月9日 月曜日

### 山口県への恩返し

(石巻市大街道)



「震災で受けた支援の恩返しをしたい」。山口市立徳佐小学校からたくさんの支援を受けてきた石巻市立釜小学校。この夏、大水害に見舞われた徳佐小学校の子どもたちへの恩返しに、募金活動に立ち上がりました。

2013年5月3日 金曜日

### 12年に1度の 御本殿御開扉巳歳御縁年大祭

(石巻市金華山)



東日本大震災で甚大な被害を受けた金華山。神社関係者や工事業者、そしてボランティアの方々による復旧作業のおかげで、今回の「巳歳御縁年大祭」を開催することができました。まだまだ、震災の傷跡が残る金華山ですが、復旧復興に向けて作業が続けられています。どうぞ、参拝に、そして心の息抜きにいらしてください。

2013年5月5日 日曜日

### ふたすじめの希望 ～金華山女川航路復活！

(女川町)

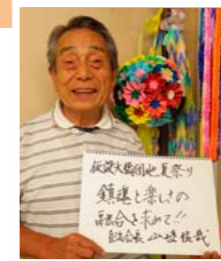


「金華山航路は震災前は1日2便。元のように増やせるものなら増やしたい。関わりのある人たちみんなで考えていかなければ」2年2カ月ぶりに復活した金華山女川航路。運行する高速船「ベガ」の持田耕明船長にお話を聞きました。

2013年9月10日 火曜日

### 大橋地区仮設住宅団地、 夏祭りへの想い

(石巻市大橋)



「仮設住宅から新居へ移った人にも案内を送ったら、来てくれて本当にうれしかった」と、山崎信哉自治会長。市内各地から居住者が集まった大規模仮設住宅団地ですが、入居者の皆さんは、まとまりがよく、協力的とのこと。手作りの夏祭りには、かき氷やわたあめ、焼きそばなどの屋台、そして笑顔がいっぱいでした。

2013年10月13日 日曜日

### 雄勝花物語

(石巻市雄勝町)



「ローズガーデンファクトリー」。津波によって家もお店も学校も畑も緑や花の色さえも奪われてしまった雄勝のまちに、復興への希望の光を灯すため、多くの人たちの力を集めた花園。ここにもうすぐ震災から4度目の春が来ます。

2013年5月10日 金曜日

### 豊作・復興祈願祭

(石巻市釜谷)



甚大な被害を受けた北上川河口の大川地区。除塩の進んだ田んぼから、少しずつ営農が再開しています。豊作や農作業の無事故を祈願して、「豊作・復興祈願祭」が行われました。田植機を操縦した高橋竹也さんは、「久しぶりだから、覚えているか心配だった。再開できてとてもうれしい」と、3年ぶりの作付けを喜びました。

2013年7月21日 日曜日

### 復興グルメF-1大会

(石巻市鮎川浜)



岩手県、宮城県、福島県の3県にある仮設商店街などからご当地創作料理が集まって競うイベント第3回「復興グルメF-1大会」が、おしかのれん街で開かれました。

グランプリは地元の鯨の竜田揚げを挟んだホットドック。「捕鯨の町・牡鹿」ならではの作品です。

2013年12月5日 木曜日

### 東日本大震災から1000日、 3266の灯火

(石巻市門脇町)



石巻市門脇町にある「がんばろう！石巻」の看板の前で、市の犠牲者数に合わせた3266個の灯籠が灯されました。静かに、そしてゆっくりと流れていく時間の中で、多くの人々が手を合わせ、震災で亡くなられた方々のために、祈りを捧げました。

2013年3月24日 日曜日

### 桜の木が植えられました

(東松島市宮戸)



「笑顔の種をまこう」を合い言葉に支援活動を行っているNPO法人スマイルシード。今日は、「私たちの愛を少しでも多くの皆さんに届け、ともに復興していきたい」との想いで結成された「越後愛届け隊」の皆さんとともに、山桜の植樹を行いました。

2013年8月16日 金曜日

### アートで彩られた、きぼうのかね 商店街

(女川町浦宿浜)



女川町にある「きぼうのかね商店街」が1日限定で美術館に変わりました。世界中で活躍するアーティストとのモノ作り体験やワークショップ、作品展示、のみの市など、たくさんの「色」が集まるアートイベントとなりました。

2013年8月25日 日曜日

### よみがえった月浜海水浴場の夏

(東松島市宮戸)



震災から3度目の夏に復活した月浜海水浴場。日曜日だけの営業にもかかわらず全日晴れ、ピークだった8月11日には2000人もの来場者でにぎわいました。住民や多くの支援者の「つながり」の力が、たくさんの人たちに楽しい思い出をプレゼントしました。

2014年2月21日 金曜日

### 「石巻やきそば」が地域のつながりに

(石巻市)



石巻市を代表するB級グルメ「石巻やきそば」。昨年市が主催する「石巻やきそば教室」では、地元の人たちが作り方を覚え、次の講習会では、講師として受講生に教えます。地元の人が地元の人へ伝える食文化。そこは地元の食文化を伝えるだけでなく、人と人をつなげる場でした。

2013年5月25日 土曜日

### 大田区と東松島市との絆

(東京都大田区・東松島市)



東京都大田区で開催された大田区&東松島市「絆」音楽祭。震災以降、大田区と区民が協働で続けている被災地支援のボランティア活動がきっかけで、昨年続き2回目の開催。当日は、東松島市からもたくさんの方が参加し、大田区の皆さんと交流を深めました。